

2025年5月3日、「未来は変えられる! 戦争ではなく平和なくらし! 2025憲法大集会」が東京・有明防災公園で開催され、約38000人が参加しました。

ホテル・観光労連シニアネットからは12名が参加、集会の様子を写真や記事でご紹介します。



プログラム

- 11:00 ミニステージ A「自由に話そうトークイベント」
B「シスター・フード・イズ・パワフル! シスター・フードで社会を変える!」
C「こども憲法ひろば」
D「Human Music ライブ」
- 12:30 オープニング 小笠原もづくさん・公園でchillさん
- 13:00 メインステージ 主催者あいさつ
スピーチ 植野妙実子さん（中央大学名誉教授・憲法学）
田中熙巳さん（日本原水爆被害者団体協議会・代表委員）
古賀茂明さん（政治経済評論家、元経済産業省官僚）
国会議員あいさつ
市民連合 連帯あいさつ
リレートーク
エンディング



☆スピーチで登壇した田中熙巳さん

ノーベル平和賞を受賞した日本被団協=日本原水爆被害者団体協議会の田中熙巳代表委員は「この数年の間は核戦争が始まるとかもしれない危険な状況で、被爆者はそれを打ち破るために核のタブーという規範を示してきたので平和賞が与えられたのだと思う。被爆者が80年訴えてきた核兵器の廃絶という願いを皆さん引き継いで広げていってほしい」と訴えました：ネット情報から



☆国会議員の皆さんから連帯の挨拶：ネット情報から



☆プラカードを掲げアピールする皆さん：ネット情報から



◆◆◆◆日本国憲法「前文」のご紹介◆◆◆◆

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基づくものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隸従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。われらは、いづれの国家も、自國のことのみに専念して他国を無視してはならないのであって、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従うことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立とうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓う。